

平成 20 年 7 月 28 日

社団法人日本物流団体連合会

特定荷主などを対象とした CO<sub>2</sub> 排出原単位 1%以上削減を図るための  
「グリーンロジスティクス推進フォーラム」を開催  
～ 荷主・物流事業者をはじめ 300 名が参加～

当連合会では平成 20 年 7 月 22 日(火)に東京都千代田区 砂防会館において、「グリーン物流パートナーシップ会議」の諸施策を補完する観点から「グリーンロジスティクス推進フォーラム(主催：社団法人日本物流団体連合会 後援：国土交通省・経済産業省)」を開催しました。当日は、特定荷主企業をはじめ、当連合会会員企業・団体、関係省庁より 300 名を超える参加者となり会場は大変盛況でした。

グリーンロジスティクスの推進については、物流事業者だけでなく荷主との協働した取り組みが不可欠であることから、当連合会としても初めて特定荷主を主対象としたフォーラムを関係省庁である国土交通省・経済産業省の後援も得て開催する運びとなりました。

当フォーラムは、特定荷主などを対象に CO<sub>2</sub> 排出原単位 1%以上の削減を図るための各種削減策の紹介を中心に構成され、「共同物流」「システム効率化」「モーダルシフト/輸配送効率化」の 3 テーマについて、環境負荷低減の最新の取り組みの実情を紹介するとともに、「グリーン物流の現状と今後の展開」「各種支援・税制優遇措置」について国土交通省からの説明、明治大学理工学部教授の北野 大 氏を講師に招いての特別講演「持続可能な社会への提言」を行いました。カリキュラムは別掲のとおりです。



フォーラムは、まずメイン会場において当連合会の平山芳昭理事長より開催にあたっての挨拶から始まり、国土交通省政策統括官の井手憲文氏より「グリーン物流の現状と今後の展開」をテーマに物流政策全般に踏み込んでのご講演を頂きました。



その後、3会場に分かれて「共同物流」、「システム効率化」、「モーダルシフト/輸配送効率化」について各セッション毎に、荷主企業計8社により具体的な事例発表を行いました。

「共同物流」のセッションでは、日本物流学会理事の津久井英喜氏をコーディネーターに迎え、共同配送・共同輸送による環境負荷低減への取り組みについての事例紹介がありました。そして「システム効率化」のセッションにおいては、東京海洋大学教授の渡邊豊氏をコーディネーターとし、ITの活用や新たなロジスティクスシステムを構築することによる環境負荷低減への取り組みや、大手小売チェーンにおけるグループ全体の最適化を目指した環境対策への取り組みをご紹介頂きました。さらに、「モーダルシフト/輸配送効率化」のセッションでは、日本貨物鉄道株式会社 常務執行役員営業部長の杉野彰氏をコーディネーターとし、モーダルシフトや、配送業務の効率化を通じた環境負荷低減への取り組みについての事例紹介がありました。



【写真上】物流連 平山理事長  
【写真下】国交省 井手政策統括官



テーマ：共同物流事例紹介  
講師：スバルロジスティクス 高澤部長



テーマ：システム効率化事例紹介  
講師：イオングローバルSCM 橋部長

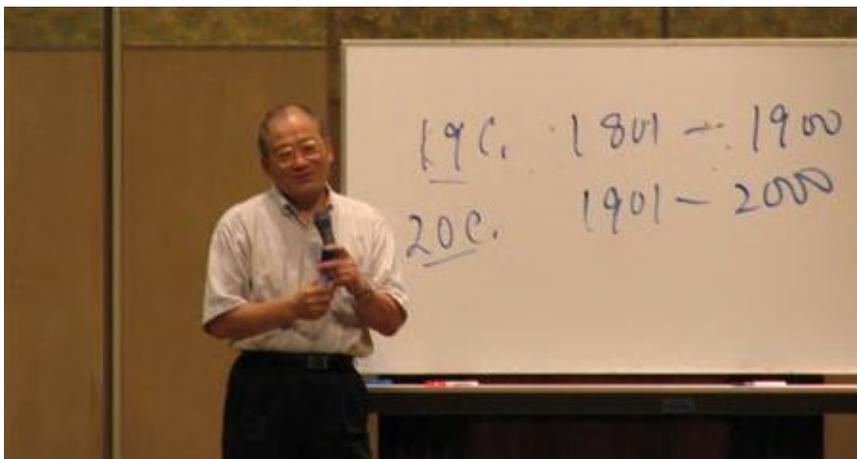


テーマ：モーダルシフト/輸送効率化事例紹介  
講師：アサヒ飲料 門倉部長

各セッションでの事例発表の後、再びメイン会場にて国土交通省 政策統括官付参事官(物流政策)付 物流環境政策企画官の前田秀氏より、「グリーン物流パートナーシップ会議」「物流総合効率化法」「都市内物流トータルプラン」といった、環境負荷低減や物流効率化

における各種支援・税制優遇措置についてご説明いただき、最後に環境科学分野において様々な委員を務め、各メディアにおいてもご活躍中の、明治大学理工学部教授の北野大氏より、「持続可能な社会への提言」というテーマでの特別講演が行われました。

当連合会としても、特定荷主を対象とした初めてのイベントではありましたが、グリーン物流の推進には、荷主と物流事業者の協働が不可欠であることから、非常に有意義なフォーラムであったと考え、今後も特定荷主を視野に入れた活動を展開していきたいと考えております。



特別講演：持続可能な社会への提言 講師：明治大学理工学部 北野大 教授

担当：社団法人日本物流団体連合会  
物流情報センター長 福本茂一  
Tel:03-3593-0139

# グリーンロジスティクス推進フォーラム カリキュラム

## 共通プログラム

会場	砂防会館 1階 大会議室
13:00 ~ 13:10	開催にあたって 社団法人日本物流団体連合会 理事長 平山 芳昭
13:10 ~ 13:45	グリーン物流の現状と今後の展開 国土交通省 政策統括官 井手 憲文 氏
14:00 ~ 15:30	別会場にて下記の3つのテーマごとに分かれて開催しました。
15:30 ~ 16:00	各種支援・税制優遇措置 国土交通省 政策統括官付参事官(物流政策)付 物流環境政策企画官 前田 秀 氏
16:10 ~ 17:00	【特別講演】持続可能な社会への提言 明治大学理工学部教授 工学博士 北野 大 氏

## テーマ : 共同物流

コーディネーター	津久井英喜 氏(日本物流学会理事)
会場	砂防会館 立山会議室
14:00 ~ 14:20	共同配送を中心とした環境負荷低減への取り組み 日清オイリオグループ株式会社 ロジスティクス部長 竹内 一夫 氏
14:20 ~ 14:40	共同輸送・海上コンテナ輸送(往復実荷運行率向上)による環境負荷低減への取り組み 株式会社スバルロジスティクス 製品物流本部国際輸送部長 高澤 陽子 氏
14:40 ~ 15:00	部材調達における共同輸送による環境負荷低減への取り組み 大和ハウス工業株式会社 生産部生産企画グループ課長 尾崎 学 氏

## テーマ : システム効率化

コーディネーター	渡辺 豊 氏(東京海洋大学教授)
会場	砂防会館 穂高会議室
14:00 ~ 14:20	ITを活用した環境負荷低減への取り組み 国分株式会社 人事総務部環境担当 兼 物流統括部物流企画担当課長 山田 英夫 氏
14:20 ~ 14:40	環境調和をめざしたロジスティクスシステムの構築 株式会社エプソンロジスティクス 管理部事業企画グループ主事 今井 高介 氏
14:40 ~ 15:00	グループ全体の最適化を目指す環境対策の取り組み イオングローバルSCM株式会社 運営部 部長 橘 良治 氏

## テーマ : モーダルシフト/輸配送効率化

コーディネーター	杉野 彰 氏(日本貨物鉄道株式会社 常務執行役員営業部長)
会場	砂防会館 六甲会議室
14:00 ~ 14:30	モーダルシフトを中心とした環境負荷低減への取り組み アサヒ飲料株式会社 SCM部 部長 門倉 泰昭 氏
14:30 ~ 15:00	配送管理システム(メイサット)活用による配送業務の効率化 明治乳業株式会社 物流部物流情報グループ 課長 小嶋 秀治 氏